



城南中だより

学校教育目標

希望と愛をはぐくむ
美と活力の学校

9 月 号 令和 7 年 8 月 27 日 発行 第 6 号

〒339-0034 さいたま市岩槻区笹久保577 <http://jounan-j.saitama-city.ed.jp/>

Tel 048-798-0007 さわやか相談室直通 048-797-0514

未来のために本気、全力の2学期

校長 吉 原 誠 士

2学期がスタート！「あ～始まってしまった」という気分の人もいるかもしれません。いずれにせよ新しい学期は残暑ざんしょを乗り越え、さわやかな秋けいかを経過して多くの“実り”みのを得たいものです。そんな中、私は気の早いことに、その先に控える3学期までを見据みすえています。1月からの3か月にはこれまでの成果が示されますし、その結果を「反省」として活かすことが次年度につながるという理由もあります。今日から12月までの「本気」は次の学期と新年度に大きな影響があるのです。

皆さんは「反省」をどのような意味だと思えますか。私が学級担任をしていた時に尋ねた時は「悪かったところをあげる」という回答が多かったように記憶しています。確かに「反省文を書きなさい」等は「自分の非を認めてよくなかった点を認め、悔い改める」的な用例くだと言えます。しかし私は「これまでのよかった点を明らかにし、よりよくする点についての改善策かいぜんさくを指摘する」という捉え方とらで使うことを求めてきました。このような、いわば「積極的な反省」は、活動に「全力」を発揮してこそ生まれるものです。「一所懸命いっしょけんめい」の取り組みによる成果だと言えます。

それではこれからの4か月は何に「全力」「一所懸命」になればいいのでしょうか。・・・1年生は学校生活に慣れる1学期を経て9月からはどの教科も本格的な内容・活動になり、多くの困難を乗り越える試練しれんの時期となるでしょう。2年生はそれこそ過去の生活・学習の「反省」の上に立ち、自分自身に合った生活と学習方法かくりつ ちゅうけんがくねんを確立、中堅学年から最高学年への控えとし過ごす、修行のシーズンになります。3年生は心身ともに大人としての落ち着きの上で過去の学びを再点検しながら弱点の補強にあたり、進路決定に向けて「ヒリヒリするような」戦いに集中力が求められる期間となります。どの学年にも「本気」を期待しています。

さて、子どもたちに「本気」で取り組むことを求める私たち大人も、高い理想かかを掲げて学習面・生活面への支援にあたります。例えば、全国的にも問題とされている「子どもたちの国語力・日本語力アップ」を図る読書活動の工夫、「たくさんの知識・技能しゅうとくの習得」と「習得を活用した思考・判断・表現力の強化」などです。「花笑み学校」として夏休み中には小・中合同の研修会も開催しました。「基礎・基本てっていの徹底」のためには保護者の皆さんにも協力を求め、家庭学習の強化も考えています。本校区の生徒にはまだまだ伸びしろがあります。必ずや成果が挙がるものと信じています。

“ 花笑み ” の一環としての 新制服、皆様には近日紹介予定です

具体的な活動を たくさんお話しできるのが楽しみです！